



学校だより

市川市立稲荷木小学校

HP QR コード



令和7年3月3日 第11号



梨の花



「やさしく・かしこく・たくましく」

～子供が夢を持ち、仲間と共に未来を切り拓く力を育む学校～

新たなスタートに向けて ～感謝そして心に残る卒業式へ～

桃の節句を迎え、もうすぐ春本番です。校庭の木々の芽もふくらみ、花を咲かせる準備をしています。

2月28日（金）に「6年生を送る会」を行いました。代表委員を中心に、当日までの準備や運営を進めてきました。在校生の発表は、6年生のことを思いながら練習を積み重ねてつくりあげた歌や呼びかけ、合奏等から、感謝や尊敬の気持ちがたくさん込められたものでした。

6年生に喜んでもらおうと一緒に過ごした思い出を劇やクイズにして発表したり、リコーダーや鍵盤ハーモニカで演奏をしたりと、各学年で工夫した出し物がありました。また、6年生が優しい表情で見入っている姿も印象的でした。6年生は、在校生や保護者の皆様に向けて、お礼の気持ちを込めて、動きの入った圧巻の合奏を披露し、感動を与えました。

こんな言葉を聞いたことがあります。

「人は『ありがとう』の数だけ賢くなり、『ごめんなさい』の数だけ優しくなり、『さようなら』の数だけ愛を知る。」（映画監督の大林宣彦さんの言葉から）

様々な活動を通して、子供たちは、「ありがとう」の数だけ賢くなっています。日々の生活においてはうまくいくことばかりではなく、時には友だちと意見がくい違ったり、けんかをしたり……。すぐには謝れなくても、お互いに自分のいけなかったところを認め合いながら生活してきたことと思います。その時に交わされる「ごめんなさい」の数だけ優しくなったと思います。

3月は新しい出会いの準備とともにいくつかのお別れの場面に遭遇する時でもあります。1年間、同じ教室で学んできた友だちとのお別れ（いったんの）また自分たちのことをリードしてくれた6年生とのお別れ、6年生は稲荷木小とのお別れ……。『さようなら』の言葉が多く交わされることでしょう。子供たちは、その数だけの愛を知ることができる、そう信じています。

18日には、52名の6年生が卒業します。在校生を代表して5年生が卒業式に参加して、卒業をお祝いします。素晴らしい門出の日となるように準備をしています。6年生にとって残された日は少ないけれど、後輩たちに伝えるメッセージはまだあると思います。最後の1日までメッセージを送り続けてほしいと願っています。

保護者の皆様、地域の皆様には、この1年間、大変お世話になりました。学校運営のご理解と子供たちを見守ってくださり、ありがとうございました。来年度もよろしくお願いいたします。

学校・家庭・地域の連携

【授業参観・保護者会】

＜1年生＞道徳科・「親切」



＜2年生＞生活科・自分ほっけん



＜3年生＞音楽交流・「スーホの白い馬」



＜4年生＞音楽交流・「ごんぎつね」



＜5年生＞国語科・参加型百人一首大会



＜6年生＞道徳科・「正直・誠実」



【学校運営協議会】2/28（金）第3回学校運営協議会がありました。



6年生を送る会を参観していただき、
生き生きとした子供たちの様子も見
ていただきました。

【6年生を送る会】



入学したときは手をつないでもら
っていた頃から、今は手をつないで
導いてあげる方に6年間で大きく成
長しました。

6年生は、卒業生としていよいよ卒
業式の練習が始まります。

詳しい内容は、毎日更新しているブログに掲載しております。そちらをご覧ください。

